

18歳意識調査 「第55回 -地方議会-」 報告書

日本財団 2023年3月17日

目次

調査概要	3
結果概要	4
1.統一地方選挙に関する認識と行動	5
統一地方選挙に対する認識	6
統一地方選挙での投票予定	9
(参考)統一地方選挙での投票しない理由	10
統一地方選挙の投票率に対する考え	11
2. 地方議会についての認識と考え	12
地方議会の役割に対する認識	13
地方議会の役割についての考え	14
地方議会の活動に対する認識	15
地方議会に期待すること	16
地方議会に期待しない理由	17
地方議会についての印象	18
3. 地方議会の課題に対する認識と考え	21
地方議会の課題に対する認識	22
地方議会の課題に対する考え	24
地方議会のあり方に対する考え	28
議員のなり手を増やすための取り組み	30
4. 地方議会のデジタル化に対する考え	31
地方議会のデジタル化に対する考え員に対する印象	32
示唆	33

調査概要「18歳意識調査」 -地方議会-

調査対象

全国の17歳～19歳男女

回答数

1,000

※性年齢別の人口比率に合わせ、下記の通り割り付けを実施。

	17歳	18歳	19歳	計
男性	168	170	176	514
女性	159	160	167	486
計	327	330	343	1,000

実施期間

2023年2月22日（水）～2月27日（月）

調査手法

インターネット調査

注記1：回答者がインターネット利用者に限られるなど、回答者に何らかの偏りが生じる可能性があり、必ずしも日本全体の17～19歳男女に妥当するものではない。

注記2：本編の図表の数値は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100%とはならない。

注記3：各頁のメッセージにおいて、数値に結果に言及する際は、%表示の小数点以下は四捨五入し、整数で記載している。

注記4：その他の自由回答については、全体の1.5%以上が回答した場合のみ掲載している。

第55回18歳意識調査

「-地方議会-」

結果概要

1 統一地方選挙に対する認知

- ① 統一地方選挙が行われることを知っていた人は男性で4割弱、女性では3割弱。
- ② 選挙が予定されている地域に住民票のある男女のうち、選挙があることを認識していたのは15%程度。選挙があることを認識していた人の約8割は投票をする予定であった。

2 地方議会の役割・活動に対する認知

- ① 男女とも半数近くが地方議会の役割について知らなかった。また、地方議会がその役割を果たしているか「わからない」と回答した人が半数程度存在。
- ② 地方議会の活動については、男女とも、「目にした・関与したことがあるものがない」と回答した人が半数以上を占める。

3 地方議会への期待と信頼

- ① 地方議会に期待することとして、「住民の意見・要望を聞く機会を設ける」、「住民が生活で困っていることなどの相談を受ける」との回答がそれぞれ3割程度。他方、特に期待することはないとの回答も4割弱あった。
- ② 首長や地方自治体と比較して、地方議会への信頼度は低い傾向が見られた。

4 地方議員の担い手不足に対する考え

- ① 近年の、特に町村議会における議員のなり手不足の状況について、約4割が「知っていた」と回答し、その状況について約6割は「問題だと思う」と回答した。
- ② なり手を増やすための取り組みとしては、男女とも半数程度が「若者の議会進出の促進すべき」と回答した。

5 議会のデジタル化に対する考え

- ① 進めるべきデジタル化の取り組みについて、男女とも、「SNS等による議会の情報発信」と「オンラインによる市民アンケートの実施」との回答が多かった。

詳細

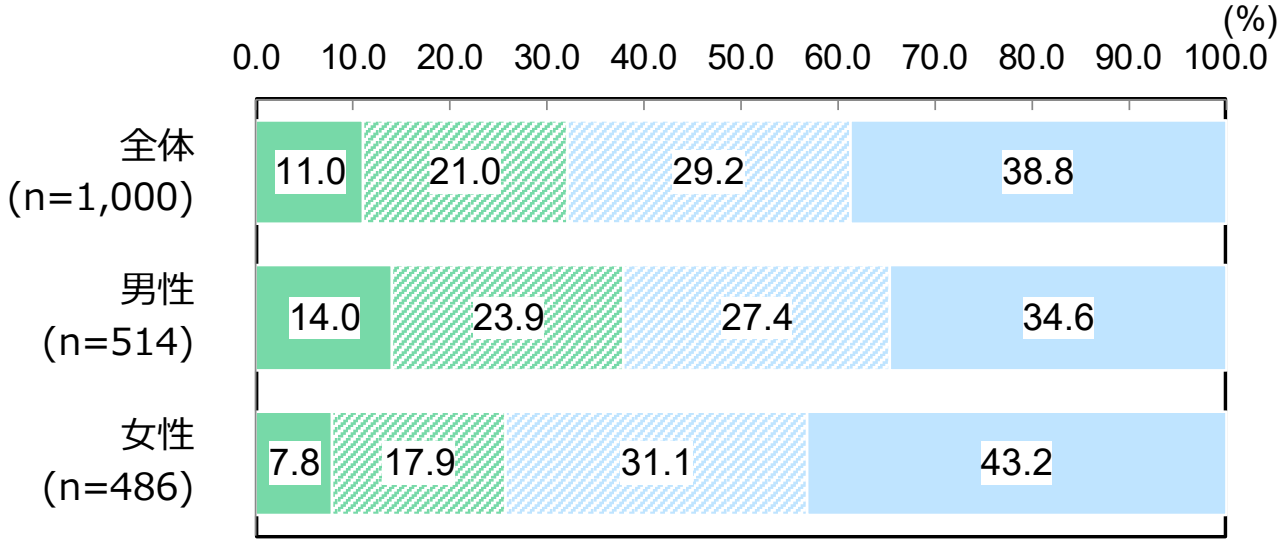
1. 統一地方選挙に関する認識と行動
2. 地方議会についての認識と考え
3. 地方議会の課題に対する認識と考え
4. 地方議会のデジタル化に対する考え

統一地方選挙に対する認識

統一地方選挙について、全体の約3割が、「実施されることを知らなかった」と回答した。また、全体の約4割が「統一地方選挙の意味などをよく知らなかった」と回答した。女性の方が男性よりも、「実施されることを知らなかった」「統一地方選挙の意味などをよく知らなかった」と回答した割合が高い。

質問1：道府県と政令指定都市の首長と議会議員選挙は4月9日、それ以外の市区町村の首長と議会議員選挙は4月23日に行われます。あなたは統一地方選挙が行われることについて、知っていましたか。（選択式/単一）

- 具体的な時期を含めて、知っていた
- ▨ 具体的な時期は知らなかったが、近々実施されることを知っていた
- ▨ 実施されることを知らなかった
- 統一地方選挙の意味などをよく知らなかった

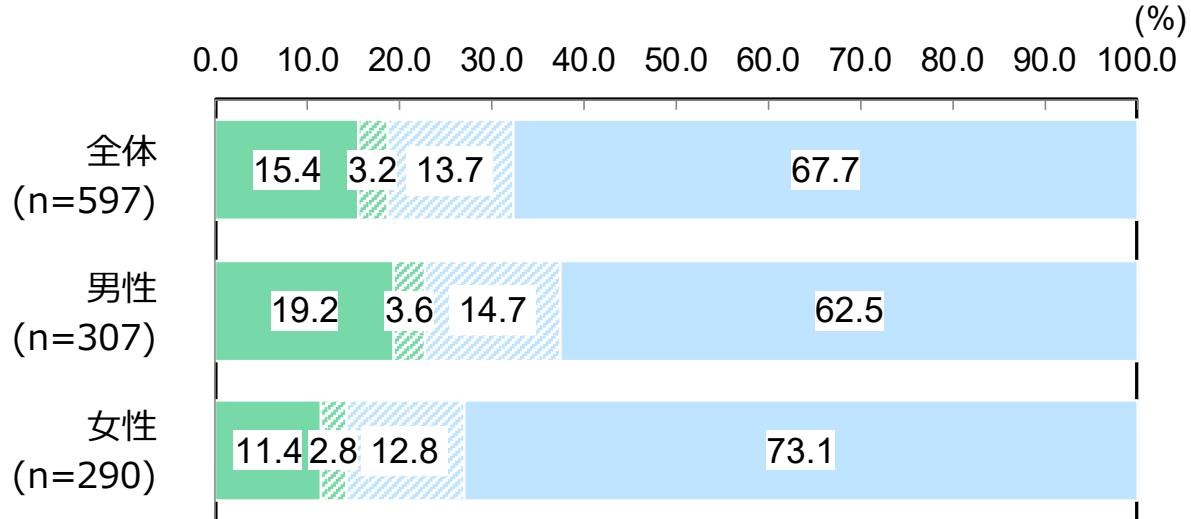


統一地方選挙に対する認識

選挙が予定されている地域に住民票がある18歳以上の男女のうち、「選挙がある」と認識していた人は全体の15%程度に留まる。男性の方が女性よりも、「選挙がある」と認識していた人の割合が高い。

質問2：あなたの住民票がある地域では4月に統一地方選挙が行われる予定ですか。（選択式/単一）

- 選挙がある
- 選挙はない
- 知らない・わからない
- 統一地方選挙の実施自体を知らない（※1）



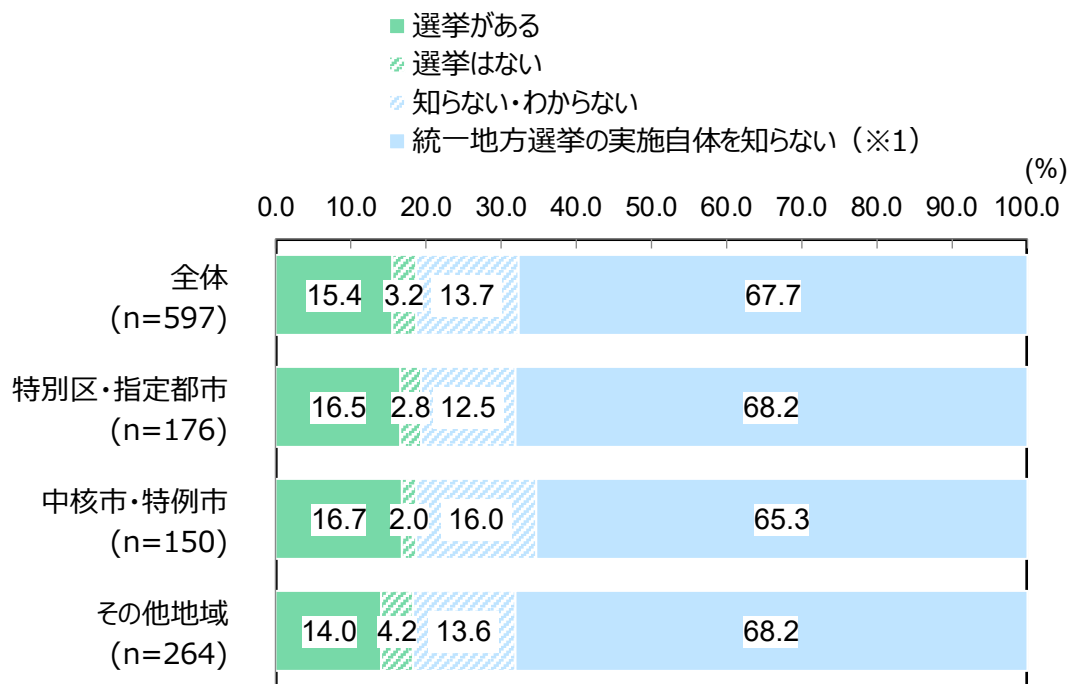
※1 質問1で統一地方選挙の実施について「実施されることを知らなかった」もしくは「統一地方選挙の意味などをよく知らなかった」と回答した人を「統一地方選挙の実施自体を知らない」に分類した。

※2 選挙が予定されている地域に住民票がある18歳以上の回答者のみを集計した。選挙が予定されている地域については、総務省「令和5年統一地方選挙執行予定団体に関する調査（令和5年1月1日時点）」を基に判断した。

統一地方選挙に対する認識

住民票のある地域区分別に見ると、特別区・指定都市と中核市・特例市と比較して、その他地域に住
民票のある人は、「選挙がある」と認識していた割合がやや低い傾向が見られた。

質問2：あなたの住民票がある地域では4月に統一地方選挙が行われる予定ですか。（選択式/単一）



※1 質問1で統一地方選挙の実施について「実施されることを知らなかった」もしくは「統一地方選挙の意味などをよく知らなかった」と回答した人を「統一地方選挙の実施自体を知らない」に分類した。

※2 選挙が予定されている地域に住民票がある18歳以上の回答者のみを集計した。選挙が予定されている地域については、総務省「令和5年統一地方選挙執行予定団体に関する調（令和5年1月1日時点）」を基に判断した。

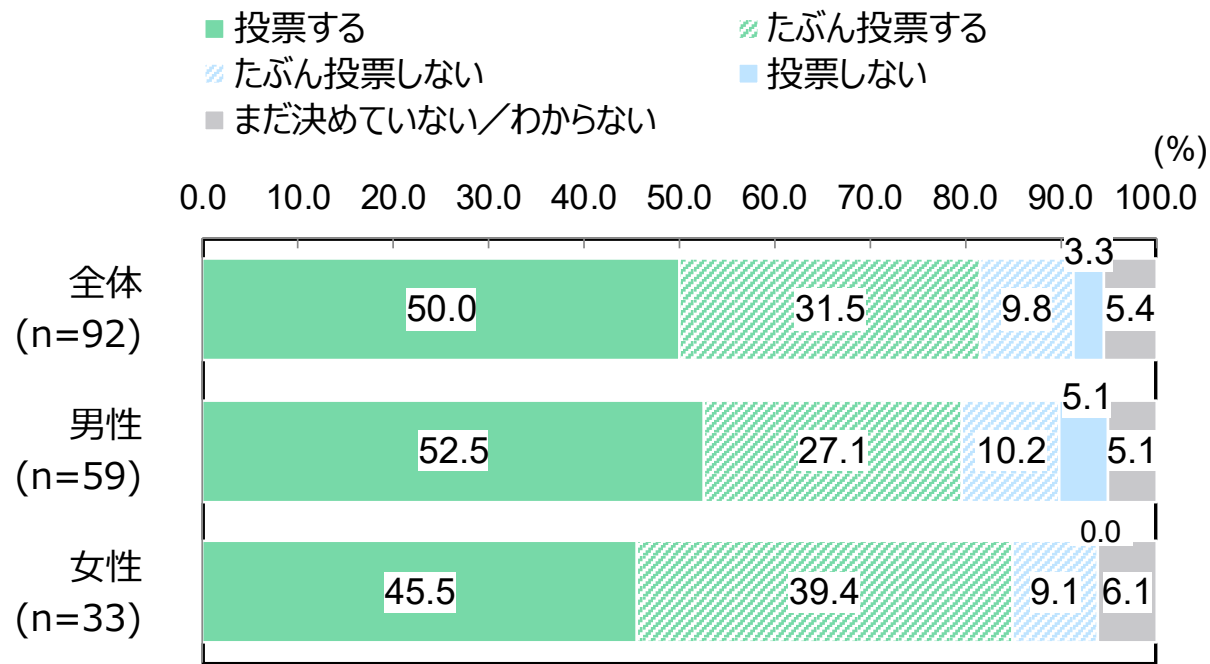
※2 地域区分は総務省ウェブサイト（URL：https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/jichi_gyousei/bunken/chiyou-koukyoudantai_kubun.html、閲覧日：2023年3月3日）を基に分類した。

統一地方選挙での投票予定

住民票のある地域で選挙があることを認識していた18歳以上の男女のうち、8割以上は統一地方選挙で「投票する」(*)と回答した。女性の方が男性よりも、「投票する」と回答した割合が高い。

※「投票する」、「たぶん投票する」の合計。

質問3：あなたは今年4月の統一地方選挙で、投票する予定ですか。(選択式/単一)



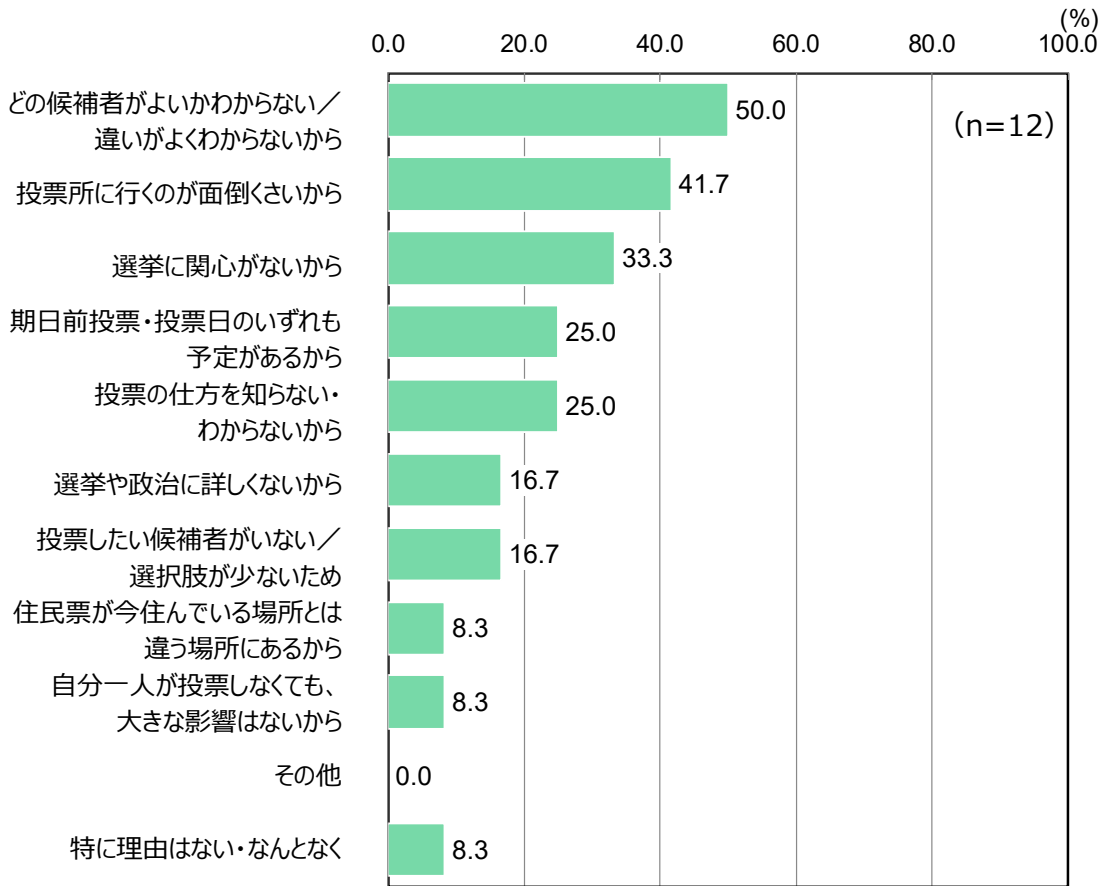
※選挙が予定されている地域に住民票がある18歳以上の回答者のうち、選挙があることを認識していた回答者のみを対象とした質問。選挙が予定されている地域については、総務省「令和5年統一地方選挙執行予定団体に関する調（令和5年1月1日時点）」を基に判断した。

(参考) 統一地方選挙での投票しない理由

「投票しない」(※)と回答した人にその理由を聞くと、「どの候補者がよいかわからない／違いがよくわからないから」、「投票に行くのが面倒くさいから」、「選挙に関心がないから」の順に回答が多かった。

※「投票する」、「たぶん投票する」の合計。

質問4：質問3で「投票しない」「たぶん投票しない」とお答えした方にお聞きします。投票しない理由を教えてください。(選択式/複数、「地方議会の役割について知らなかった」以外はランダムに表示)

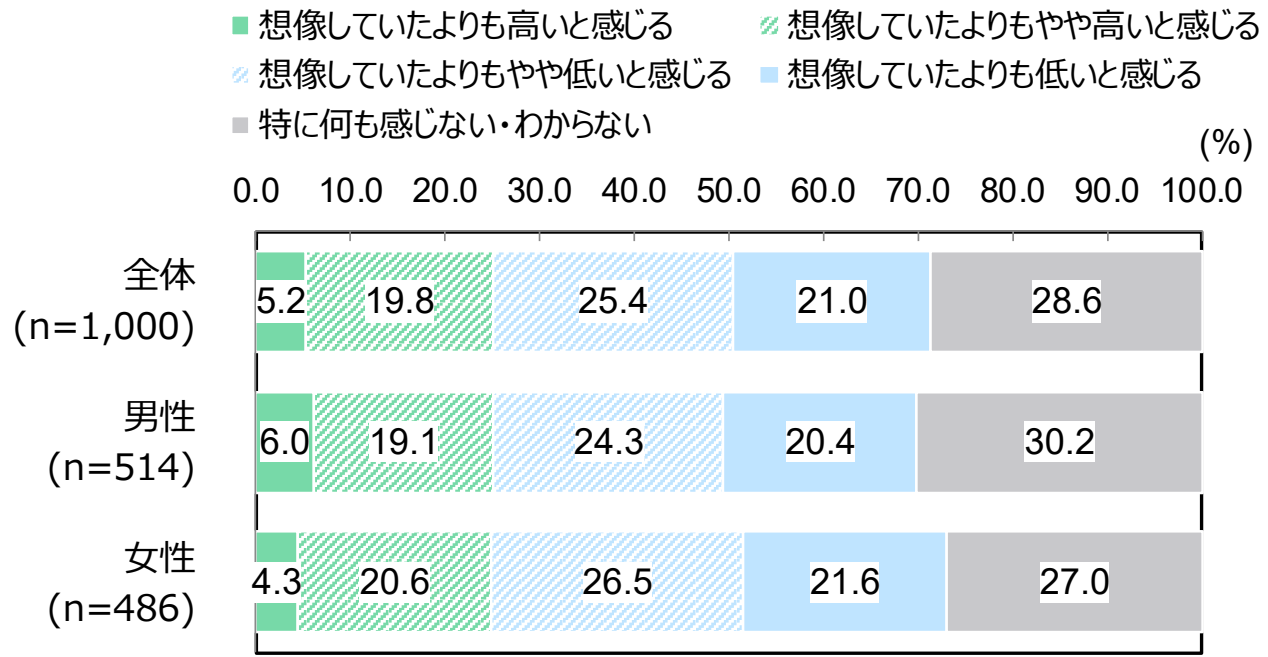


※「全体」の降順で掲載。
※N数が少ないため、
参考として掲載。

統一地方選挙の投票率に対する考え

近年の統一地方選挙の投票率が50%前後であることについて、「想像していたよりも低いと感じる」(*)との回答が全体の半数程度を占める。女性の方が男性よりも、「想像していたよりも低いと感じる」と回答した割合がやや高い。 ※「想像していたよりも低いと感じる」、「想像していたよりもやや低いと感じる」の合計。

質問5：近年、統一地方選挙の投票率は50%前後です。あなたはこの数値についてどう感じますか。
(選択式/単一)



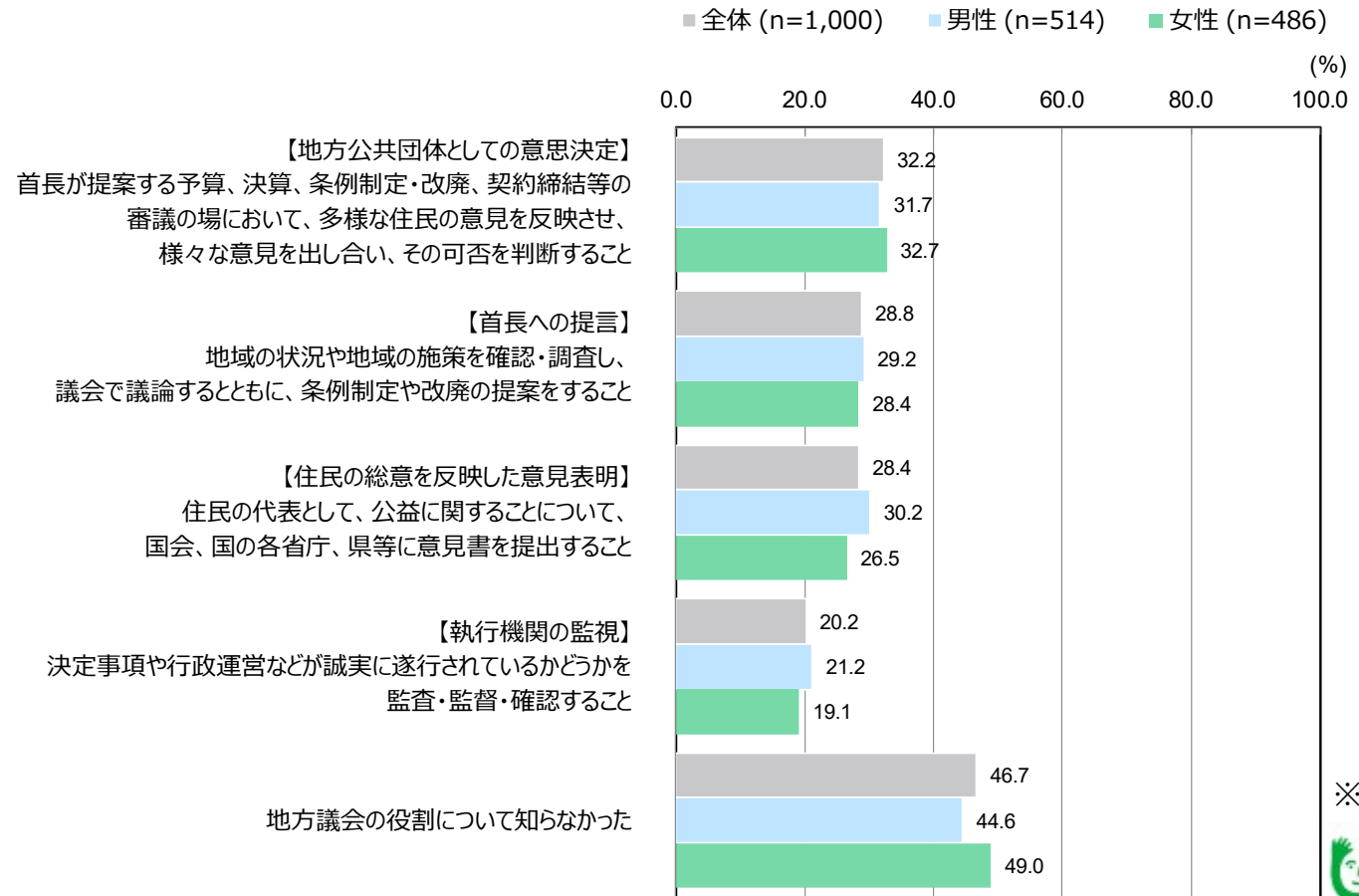
詳細

1. 統一地方選挙に対する認識と行動
2. 地方議会に対する認識と考え
3. 地方議会の課題に対する認識と考え
4. 地方議会のデジタル化に対する考え

地方議会の役割に対する認識

地方議会の役割について、全体の半数近くが「知らなかった」と回答。知っている役割としては、「地方公共団体としての意思決定」、「首長への提言」、「住民の総意を反映した意思表示」の順に回答が多い。

質問6：地方議会の役割について、あなたが知っていたものをすべて教えてください。
 (選択式/複数、「地方議会の役割について知らなかった」以外はランダムに表示)



※「全体」の降順で掲載。

地方議会の役割についての考え

地方議会が役割を果たしているかどうかについて、都道府県議会と市区町村議会のいずれについても、半数程度が「わからない」と回答した。また、「役割を果たしていない」(※1)よりも「役割を果たしている」(※2)と回答した人の割合がやや高かった。※1「役割を果たしていない」、「どちらかという役割を果たしていない」の合計。
 ※2「役割を果たしている」、「どちらかという役割を果たしている」の合計。

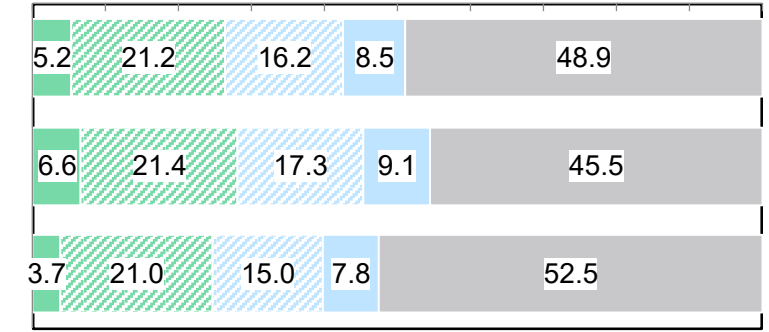
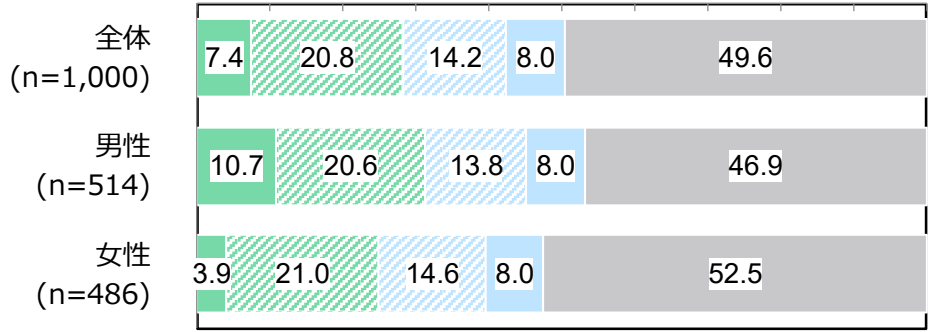
質問7：あなたは、地方議会が求められる役割を果たしていると考えますか。都道府県議会と市区町村議会、それぞれについてお答えください。(選択式/単一)

都道府県議会

市区町村議会

■ 役割を果たしている ■ どちらかという役割を果たしている
 ■ どちらかという役割を果たしていない ■ 役割を果たしていない
 ■ わからない (％)

■ 役割を果たしている ■ どちらかという役割を果たしている
 ■ どちらかという役割を果たしていない ■ 役割を果たしていない
 ■ わからない (％)

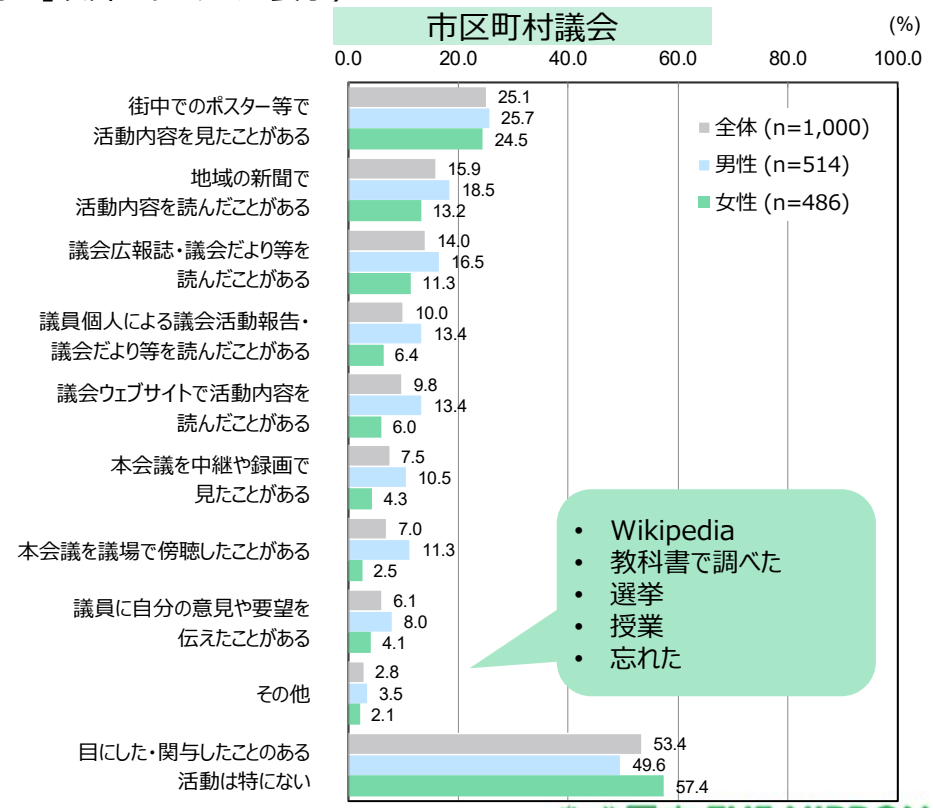
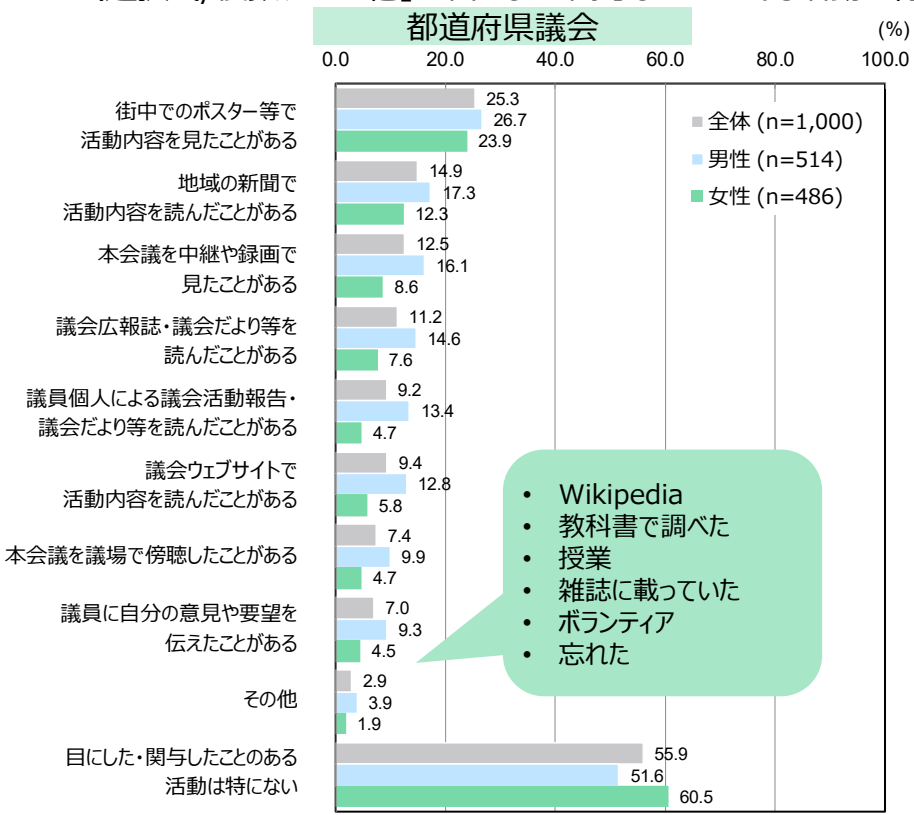


地方議会の活動に対する認識

都道府県議会と市区町村議会のいずれについても、「目にした・関与したことがある活動は特にない」との回答が半数以上を占める。目にした・関与したことがある活動としては、「街中でのポスター等で活動内容を見たことがある」との回答が多い。

質問8：あなたの住民票がある地域の議会の活動について、目にしたことがあるもの・関与したことがあるものがありますか。都道府県議会と市区町村議会、それぞれについて教えてください。

(選択式/複数、「その他」・「目にした・関与したことがある活動は特にない」以外はランダムに表示)

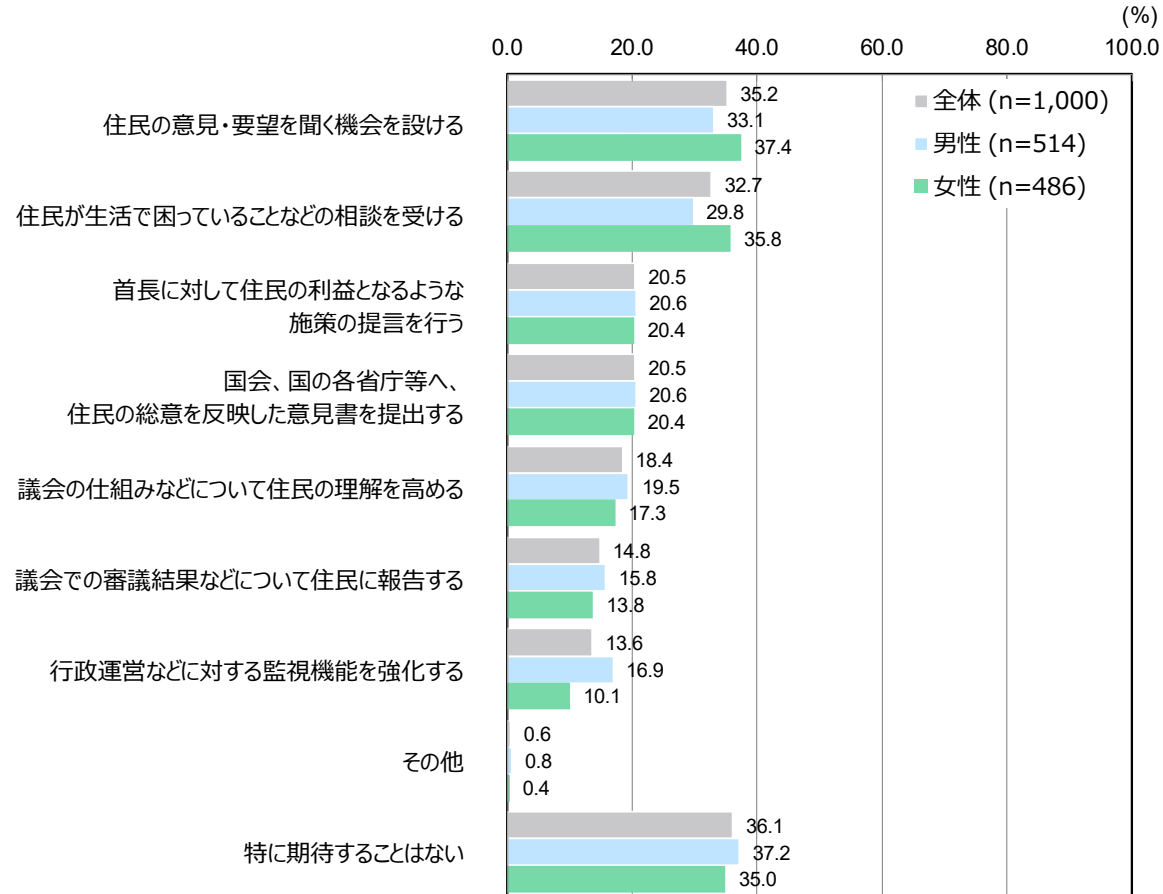


※都道府県議会と市区町村議会それぞれについて、「全体」の降順で掲載。

地方議会に期待すること

地方議会に期待することとしては、男女とも、「住民の意見・要望を聞く機会を設ける」、「住民が生活で困っていることなどの相談を受ける」との回答が最も多かった。一方で、約4割近くが「特に期待することはない」との回答だった。

質問9：あなたが地方議会に期待することは何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。
 (選択式/複数、「その他」・「特に期待することはない」以外はランダムに表示)



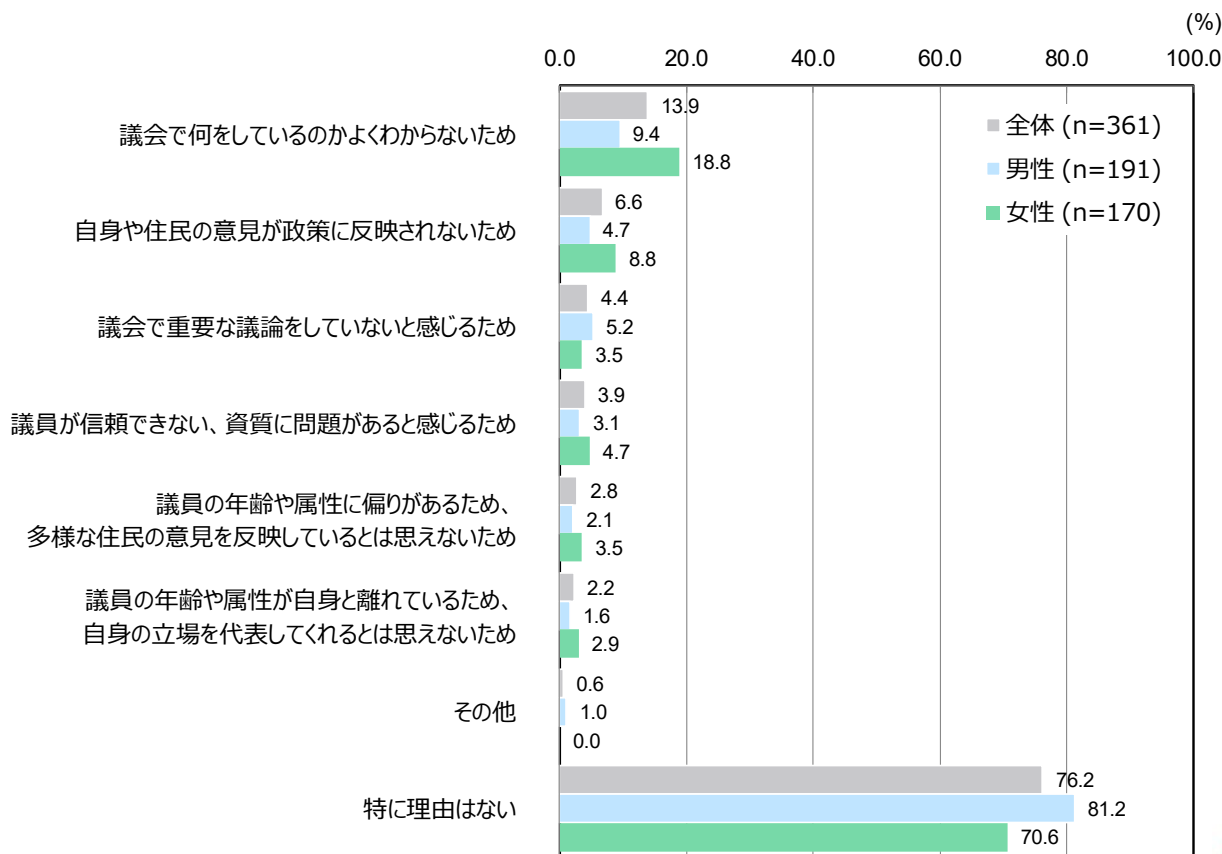
※「全体」の降順で掲載。

地方議会に期待しない理由

地方議会に特に期待することはない理由として、全体の約8割が「特に理由はない」と回答。具体的な理由としては、「議会で何をしているのかよくわからないため」との回答が多かった。

質問10：質問9で「特に期待することはない」とお答えした理由を教えてください。

(選択式/複数、「その他」・「特に理由はない」以外はランダムに表示)



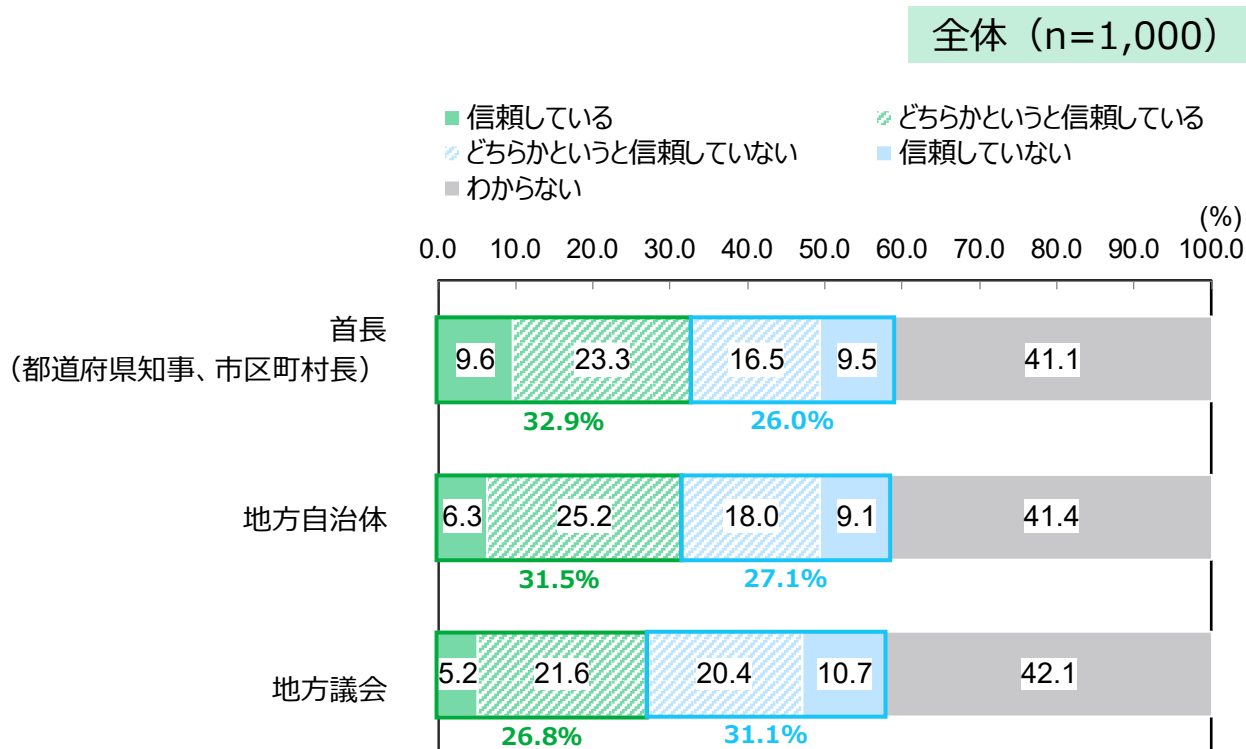
※「全体」の降順で掲載。

地方議会についての印象

首長と地方自治体については、「信頼している（※1）」と回答した人の割合が「信頼していない（※2）」を上回った。地方議会については、「信頼していない」と回答した人の割合が「信頼している」を上回った。

※1「信頼している」、「どちらかという信頼している」の合計。※2「どちらかという信頼していない」、「信頼していない」の合計。

質問11. あなたは、今の日本の以下の機関について、どの程度信頼していますか。（選択式/単一）



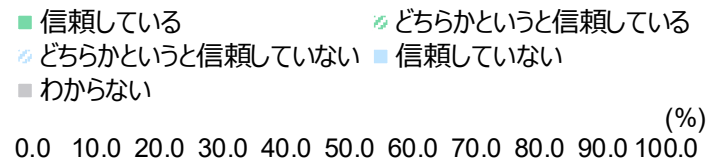
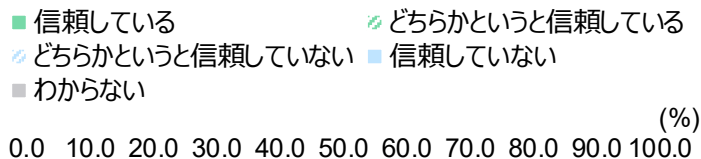
地方議会についての印象

男女とも、首長、地方自治体、地方議会の順に「信頼している（※1）」と回答した人の割合が高かった。男性では、地方議会について「信頼していない（※2）」と回答した人の割合が3割を超えた。※1「信頼している」、「どちらかという信頼している」の合計。※2「どちらかという信頼していない」、「信頼していない」の合計。

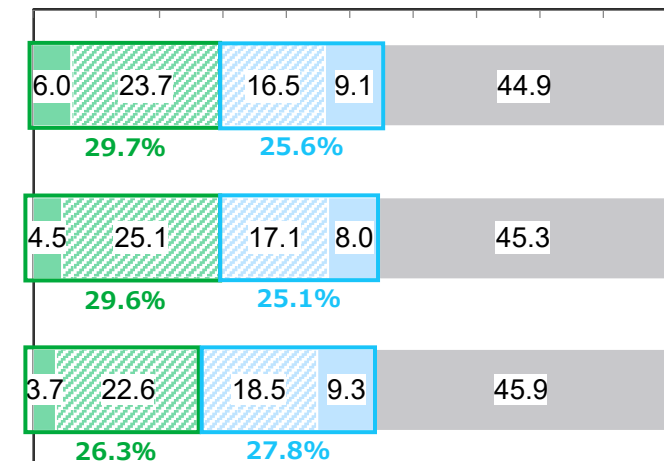
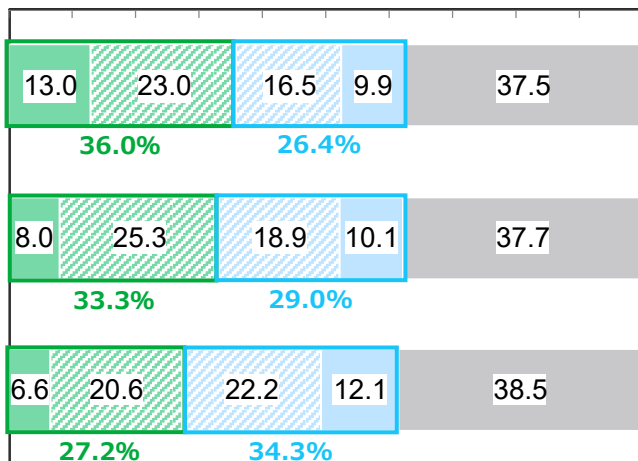
質問11. あなたは、今の日本の以下の機関について、どの程度信頼していますか。（選択式/単一）

男性 (n=514)

女性 (n=486)



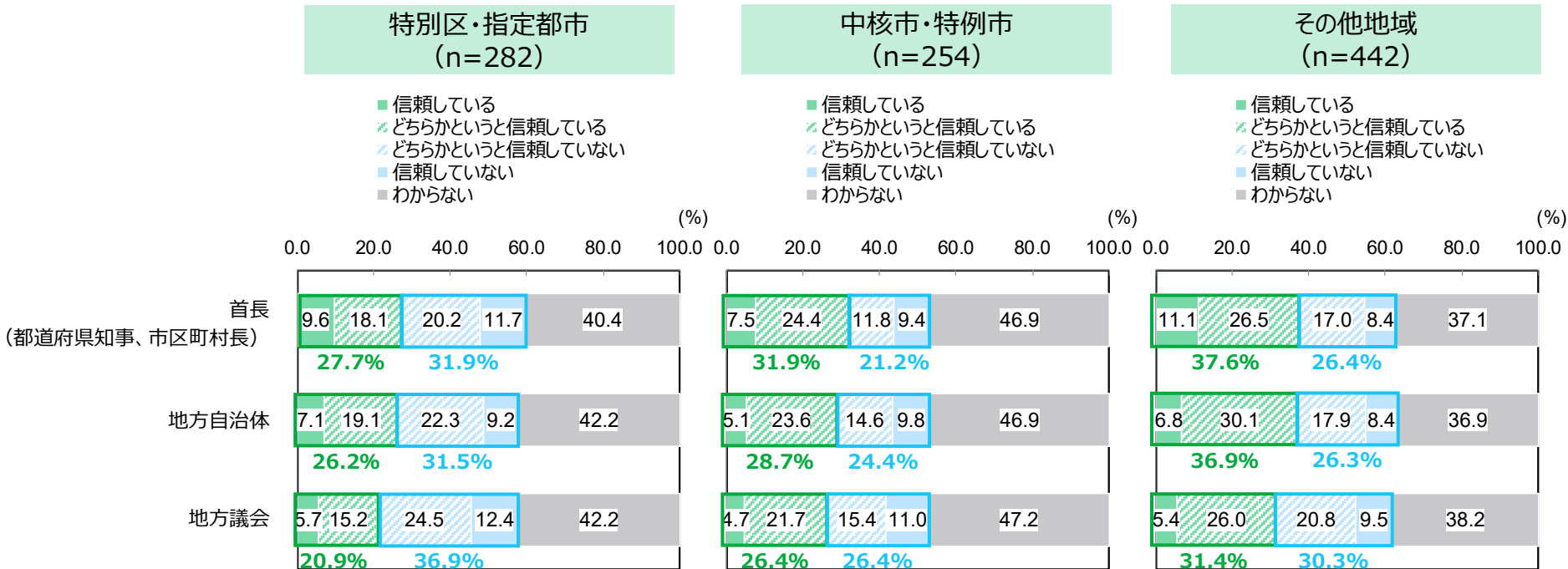
首長
 (都道府県知事、市区町村長)



地方議会についての印象

特別区・指定都市では、いずれの機関についても、「信頼している（※1）」よりも「信頼していない（※2）」と回答した人の割合がほぼ上回った。他方、その他地域では、いずれの機関についても、「信頼している」と回答した人の割合が「信頼していない」を上回った。※1「信頼している」、「どちらかという信頼している」の合計。※2「どちらかという信頼していない」、「信頼していない」の合計。

質問11. あなたは、今の日本の以下の機関について、どの程度信頼していますか。（選択式/単一）



※地域区分は総務省ウェブサイト（URL：https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/jichi_gyousei/bunken/chihou-koukyoudantai_kubun.html、閲覧日：2023年3月3日）を基に分類した。

詳細

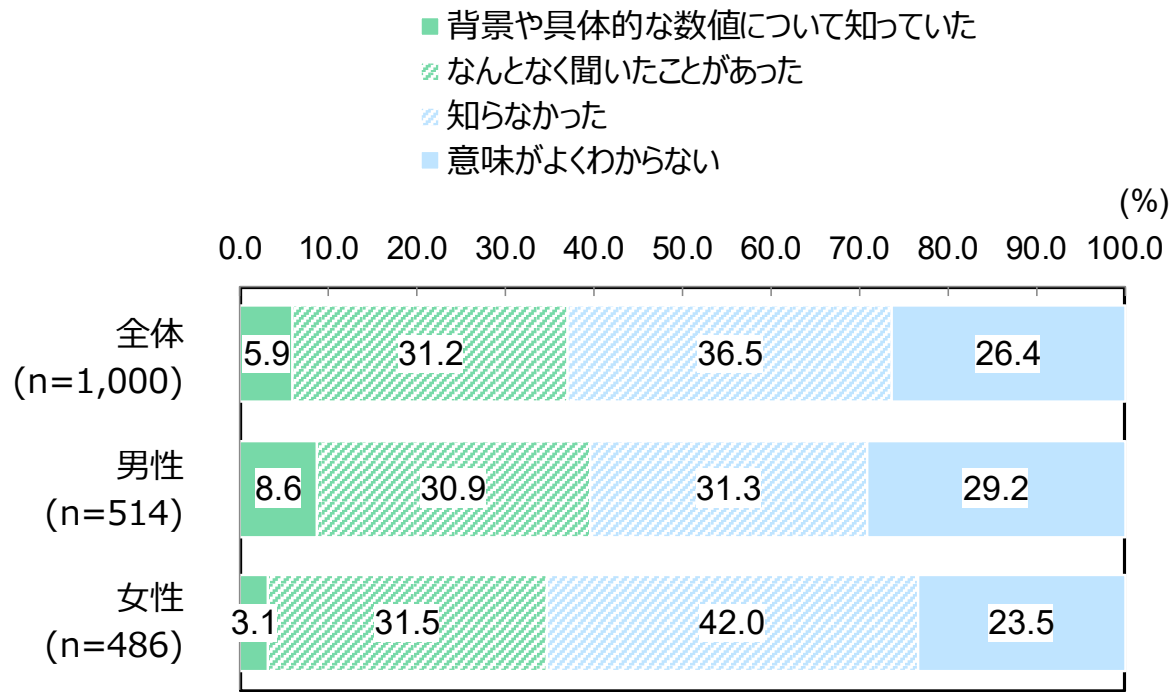
1. 統一地方選挙に対する認識と行動
2. 地方議会に対する認識と考え
3. 地方議会の課題に対する考え
4. 地方議会のデジタル化に対する考え

地方議会の課題に対する認識

近年の、特に町村議会における議員のなり手不足の状況について、全体の約4割が「知っていた（※）」と回答した。男性の方が女性よりも、「知っていた」と回答した人の割合が高い。

※「背景や具体的な数値について知っていた」、「なんとなく聞いたことがあった」の合計。

質問12：近年、特に町村議会で議員のなり手が減り、無投票当選や定員割れが起きています。あなたはこの状況について知っていましたか。（選択式/単一）

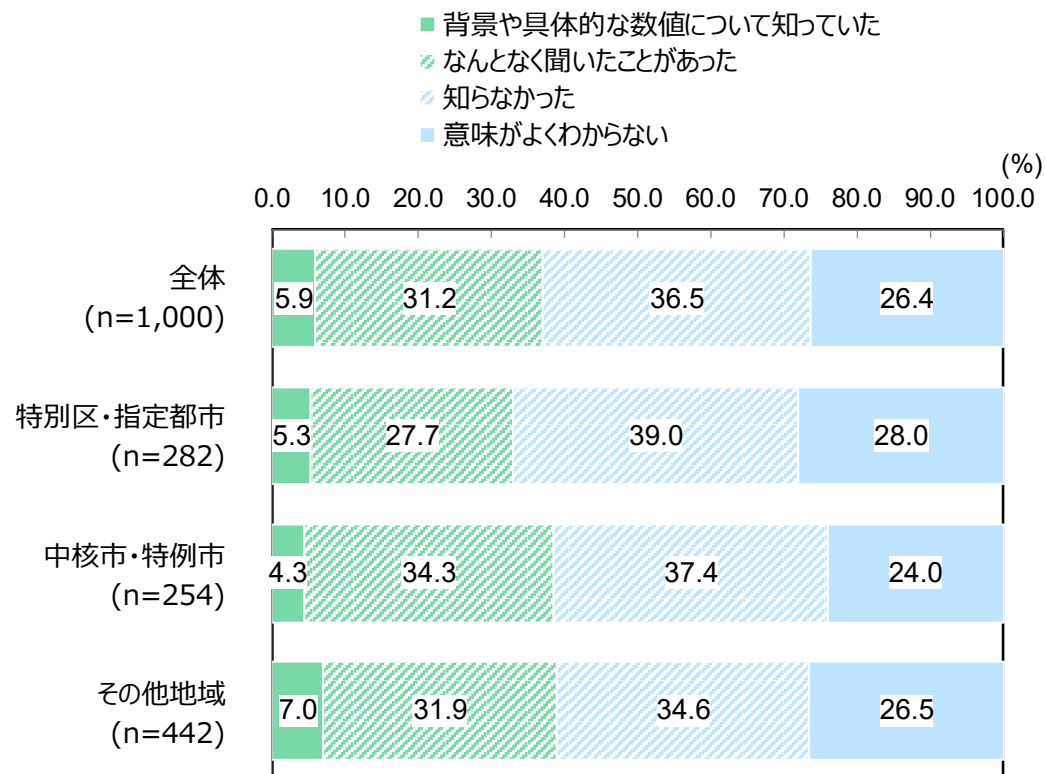


地方議会の課題に対する認識

回答者の住民票のある地域区分別に見ると、特別区・指定都市よりも中核市・特例市とその他地域の方が「知っていた(※)」との回答が多い傾向がみられる。

※「背景や具体的な数値について知っていた」、「なんとなく聞いたことがあった」の合計。

質問12：近年、特に町村議会で議員のなり手が減り、無投票当選や定員割れが起きています。あなたはこの状況について知っていましたか。(選択式/単一)



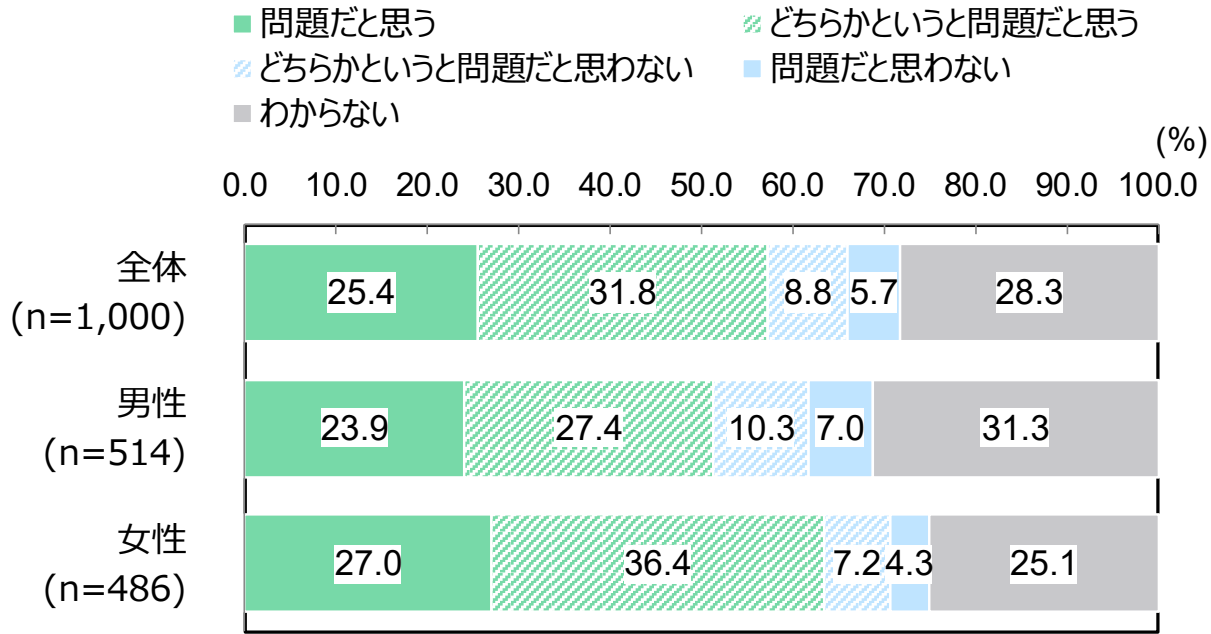
※地域区分は総務省ウェブサイト (URL : https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/jichi_gyousei/bunken/chihou-koukyoudantai_kubun.html、閲覧日：2023年3月3日) を基に分類した。

地方議会の課題に対する考え

特に町村議会における議員のなり手不足の状況について、全体の約6割程度が「問題だと思う」(*)との回答。女性の方が男性よりも、「問題だと思う」と回答した割合が高い。

※「問題だと思う」、「どちらかという問題だと思う」の合計。

質問13：あなたは、特に町村議会において議員のなり手が減少している状況について、問題だと思いますか。(選択式/単一)

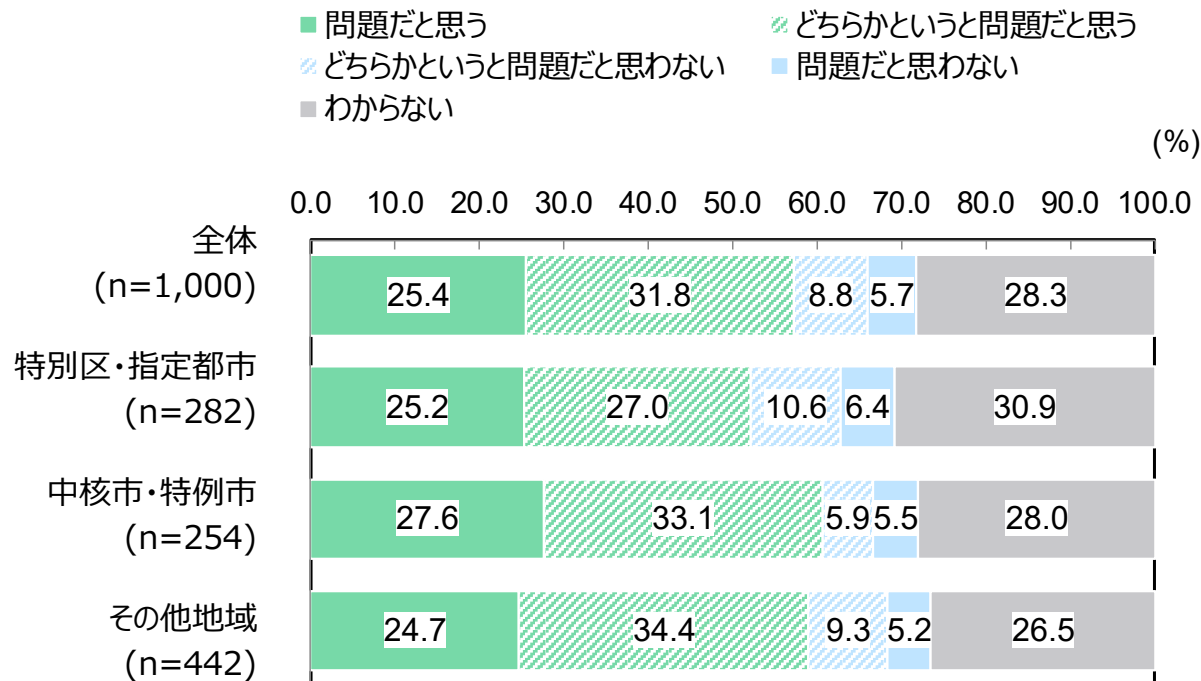


地方議会の課題に対する考え

回答者の住民票のある地域区分別に見ると、特別区・指定都市よりも、中核市・特例市とその他地域の方が「問題だと思う」(*)と回答した割合が高い。特に中核市・特例市ではその割合が高い。

※「問題だと思う」、「どちらかという問題だと思う」の合計。

質問13：あなたは、特に町村議会において議員のなり手が減少している状況について、問題だと思いますか。(選択式/単一)

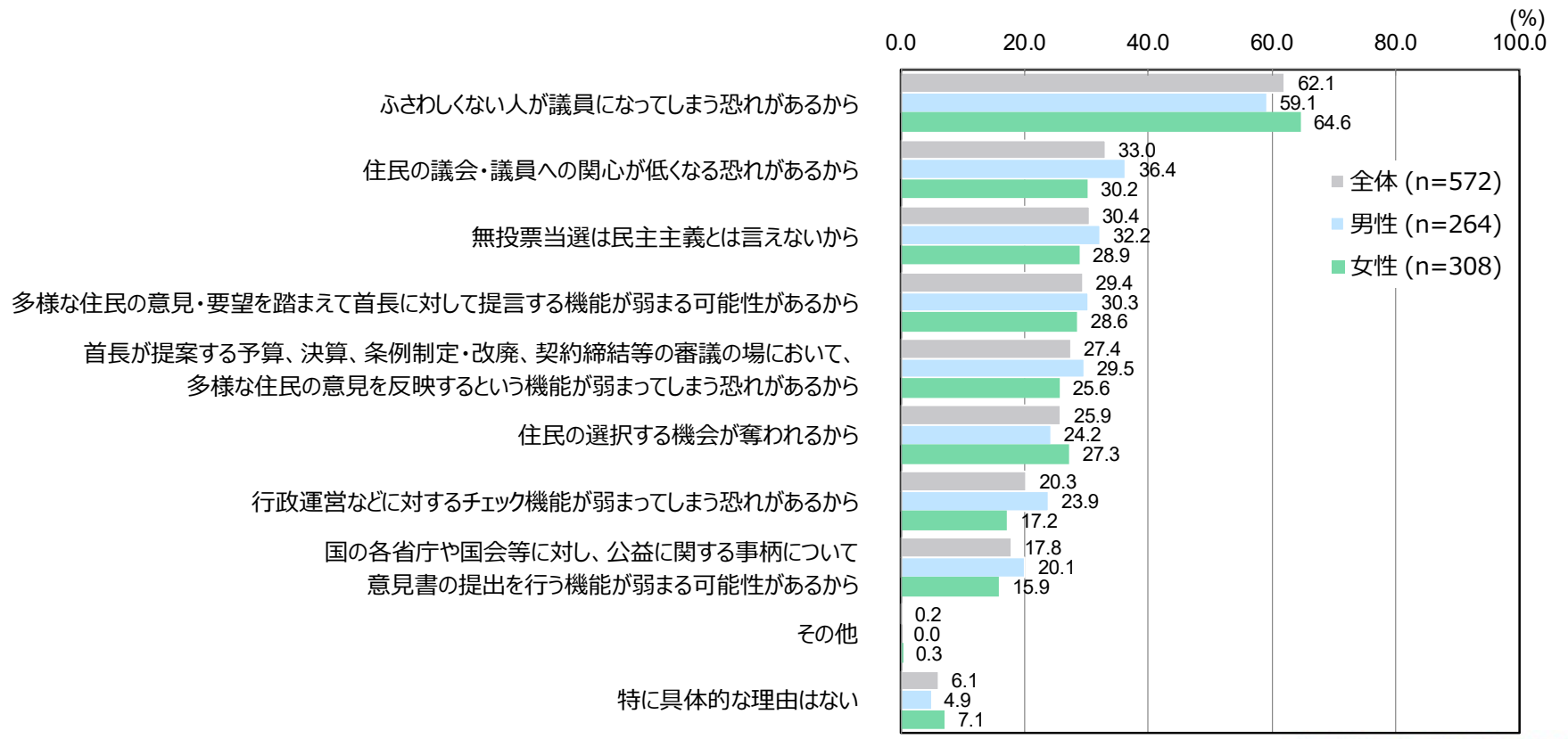


※地域区分は総務省ウェブサイト (URL : https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/jichi_gyousei/bunken/chihou-koukyoudantai_kubun.html、閲覧日：2023年3月3日) を基に分類した。

地方議会の課題に対する考え

議員のなり手不足が問題だと思ふ理由として、全体の約6割が「ふさわしくない人が議員になってしまう恐れがあるから」と回答。次点は約3割で「住民の議会・議員への関心が低くなる恐れがあるから」、さらに「無投票当選は民主主義とは言えないから」と続く。

質問14：質問13で「問題だと思ふ」「どちらかという問題だと思ふ」と回答した理由をすべて教えてください。（選択式/複数、「その他」・「特に具体的な理由はない」以外はランダムに表示）

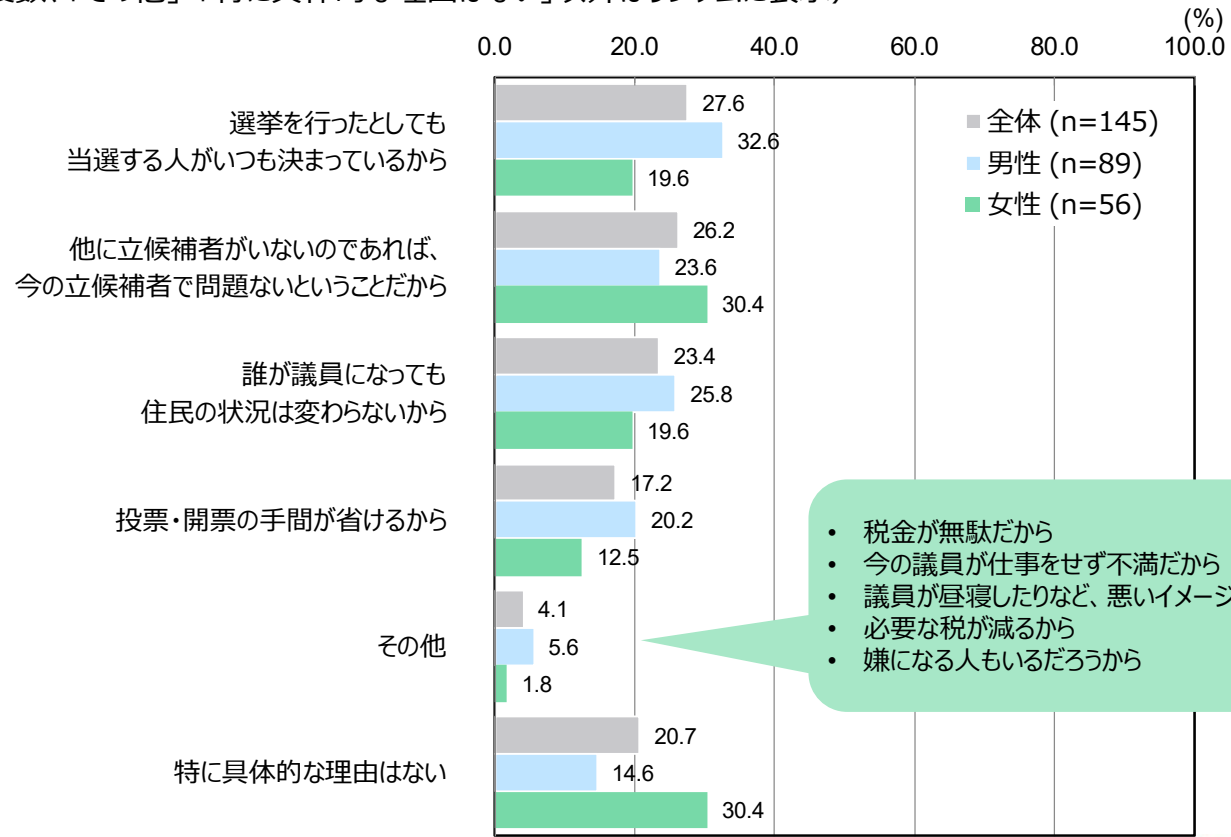


※「全体」の降順で掲載。

地方議会の課題に対する考え

議員のなり手不足が問題だと思わない理由として、男性は「選挙を行ったとしても当選する人がいつも決まっているから」との回答が最も多く、女性は「他に立候補者がいないのであれば、今の立候補者で問題ないということだから」との回答が最も多かった。

質問15：質問13で「どちらかという問題だと思わない」「問題だと思わない」と回答した理由を教えてください。（選択式/複数、「その他」・「特に具体的な理由はない」以外はランダムに表示）

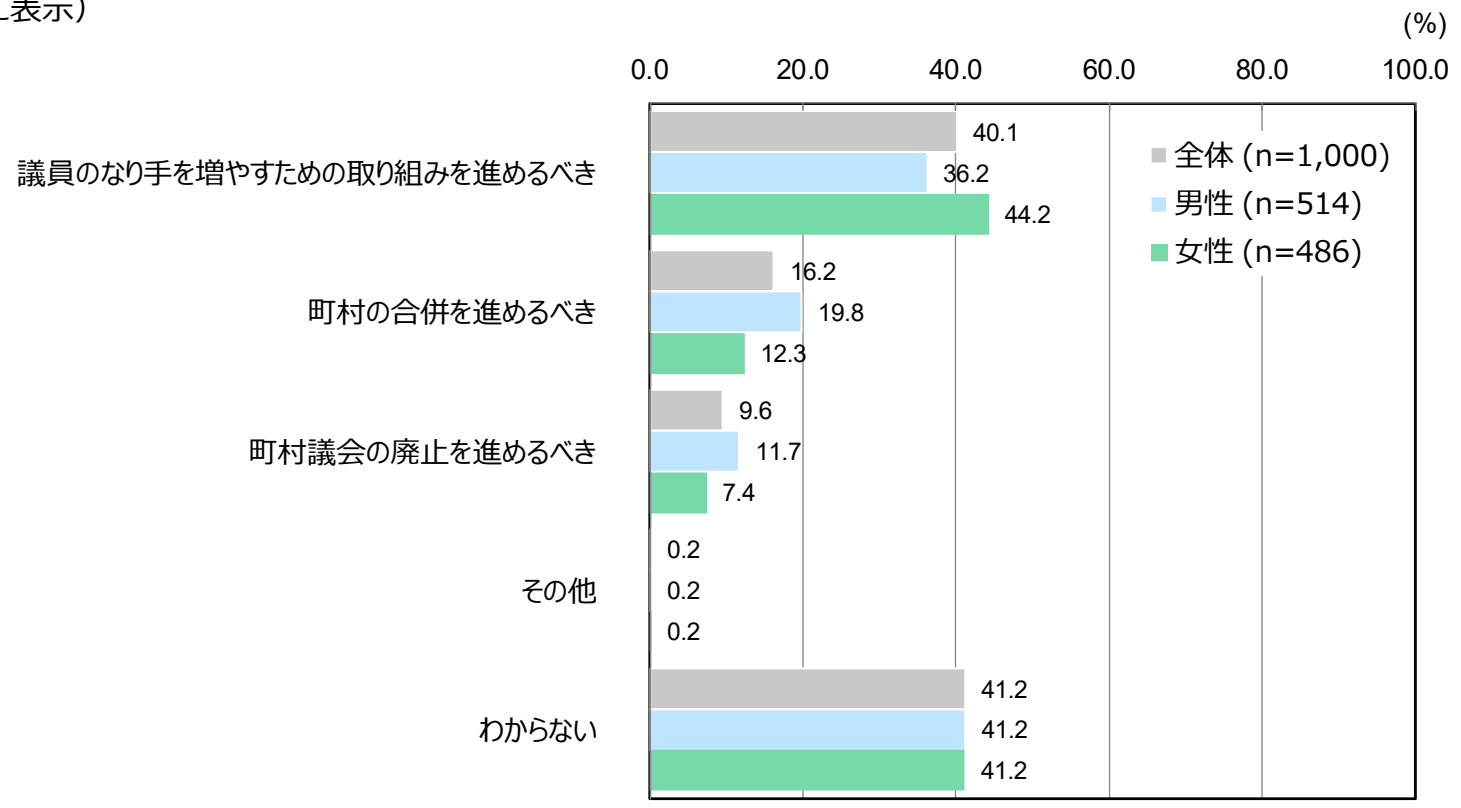


※「全体」の降順で掲載。

地方議会のあり方に対する考え

全体の約4割が「議員のなり手を増やすための取り組みを進めるべき」と回答し、約2割が「町村の合併を進めるべき」と回答した。「議員のなり手を増やすための取り組みを進めるべき」との回答は男性よりも女性の方が多く、「町村の合併を進めるべき」との回答は男性よりも女性の方が多かった。

質問16：あなたは町村議会の議員のなり手が減少している状況の中で、町村議会のあり方について、どう考えますか。以下の中から最も当てはまるものを選択してください。（選択式/複数、「その他」・「わからない」以外はランダムに表示）

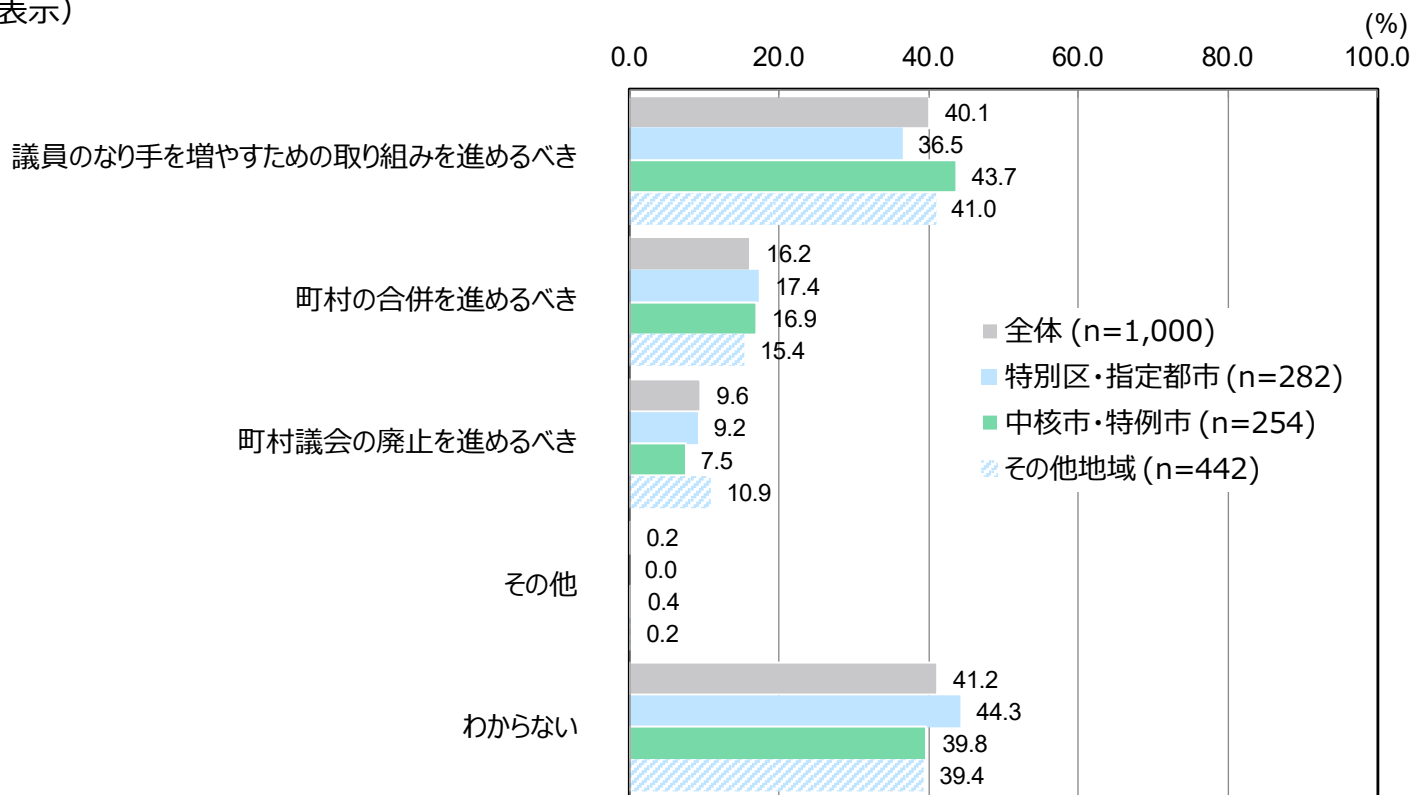


※「全体」の降順で掲載。

地方議会のあり方に対する考え

住民票のある地域区分別に見ると、地域規模が大きくなるほど「町村の合併を進めるべき」との回答が増える傾向が見て取れた。「議員のなり手を増やすための取り組みを進めるべき」と回答した割合は、特別区・指定都市よりも中核市・特例市とその他地域の方が高い傾向がある。

質問16：あなたは町村議会の議員のなり手が減少している状況の中で、町村議会のあり方について、どう考えますか。以下の中から最も当てはまるものを選択してください。（選択式/複数、「その他」・「わからない」以外はランダムに表示）

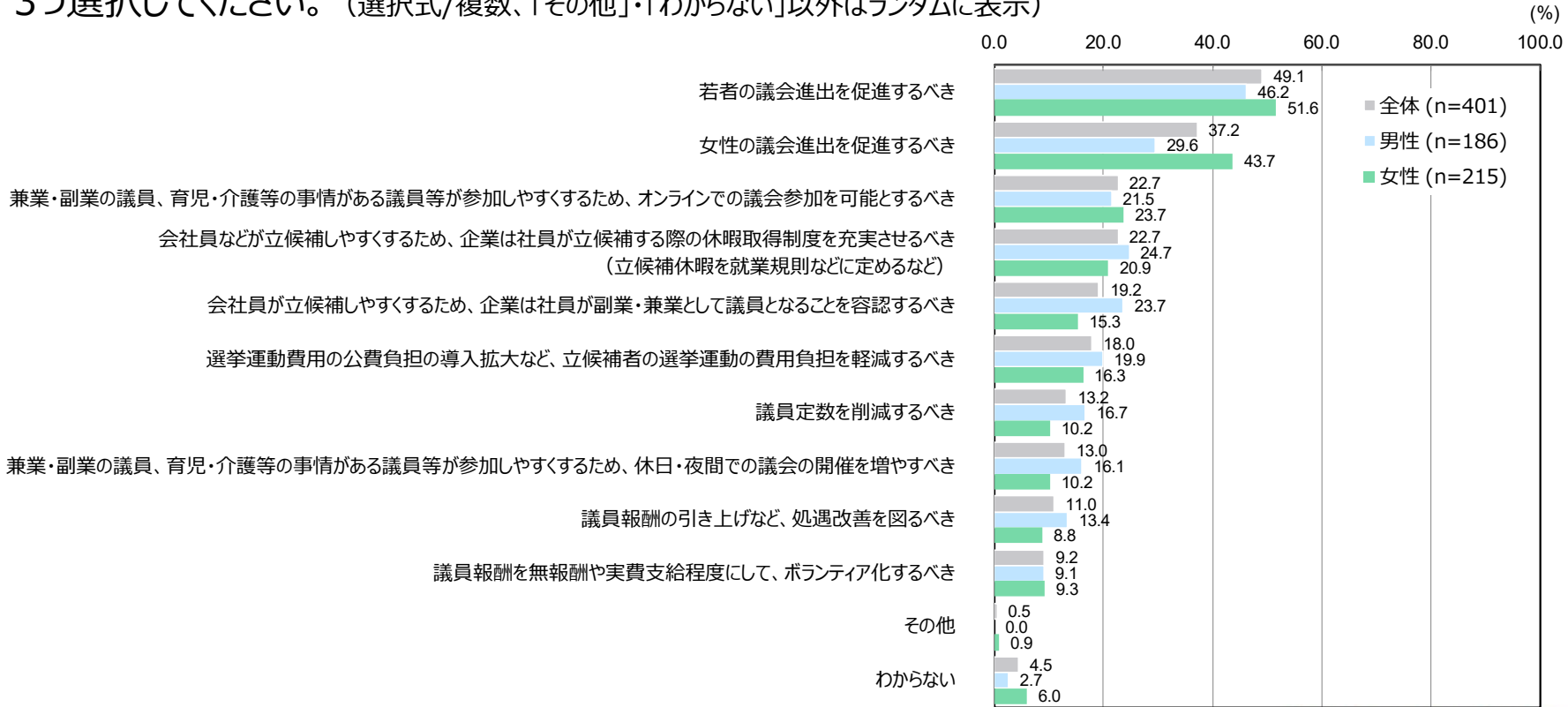


※「全体」の降順で掲載。

議員のなり手を増やすための取り組み

全体の半数程度が「若者の議会進出の促進すべき」と回答し、約4割が「女性の議会進出の促進すべき」と回答した。男性の方が女性の方よりも「若者の議会進出の促進すべき」と回答した割合が高く、女性の方が男性よりも「女性の議会進出の促進すべき」と回答した割合が高かった。

質問17：質問16で「議員のなり手を増やすための取り組みを進めるべき」と回答した方にお聞きします。議員のなり手が減少する中で地方議会を維持するために、どのような取り組みを進めるべきですか。最大3つ選択してください。（選択式/複数、「その他」「わからない」以外はランダムに表示）



※「全体」の降順で掲載。

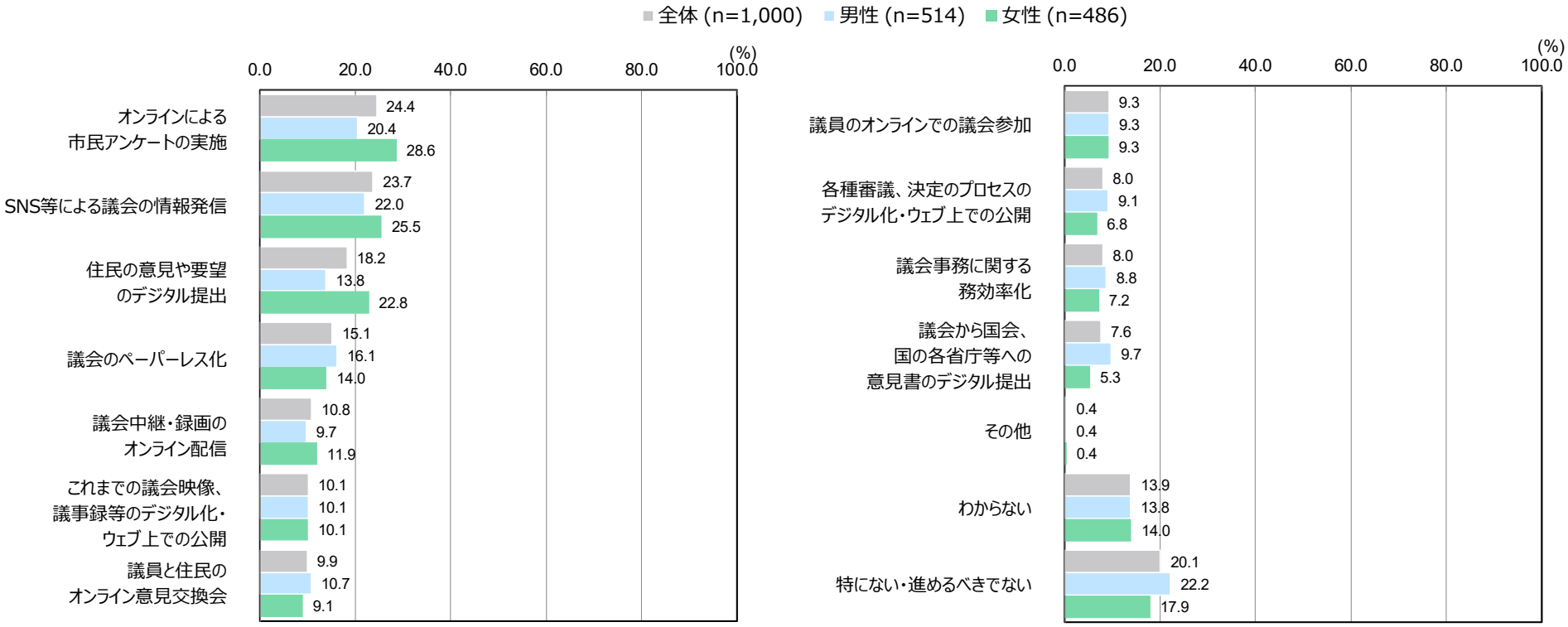
詳細

1. 統一地方選挙に対する認識と行動
2. 地方議会に対する認識と考え
3. 地方議会の課題に対する考え
4. 地方議会のデジタル化に対する考え

地方議会のデジタル化に対する考え

男性は、「SNS等による議会の情報発信」、「オンラインによる市民アンケートの実施」、「議会のペーパーレス化」の順に回答が多かった。女性は、「オンラインによる市民アンケートの実施」、「SNS等による議会の情報発信」、「住民の意見や要望のデジタル提出」の順に回答が多かった。

質問18：地方議会におけるデジタル化の推進が検討されています。どのようなデジタル化の取り組みを進めるべきと考えますか。最大3つ選択してください。（選択式/複数、「その他」・「わからない」・「特にない・進めるべきでない」以外はランダムに表示）



※「全体」の降順で掲載。

第55回18歳意識調査

「地方議会」

示唆



地方議会の役割・活動についての情報発信

若者の半数近くは、地方議会の役割について知らなかったと回答した。また、都道府県議会と市区町村議会のいずれについても、役割を果たしているのかどうか、どのような活動をしているのか、認識していない回答者が半数程度存在した。信頼度という点でも、首長や地方自治体と比較すると、地方議会はやや低い傾向が見られた。地方議会の役割や活動をより強く若者に伝えていく必要があるのではないか。



若者や女性の議会進出の促進

若者の半数近くが、「若者の議会進出の促進するべき」との考えを示した。また、女性の4割強、男性の3割弱が「女性の議会進出の促進するべき」と回答した。第54回調査においても、国会をよりよく機能させる方法として、より多くの若手議員や女性議員の選出が挙げられており、今後益々、若者や女性等の多様な議員を増やしていくような取り組みが進められることが期待される。



若者の声を聞く

3割以上の若者が、地方議会に、「住民の意見・要望を聞く機会を設ける」、「住民が生活で困っていることなどの相談を受ける」ことを期待していた。一方で、現状では、都道府県議会と市区町村議会が役割を果たしているかどうかについて、男女とも半数程度が「わからない」と回答している。若者の意見・要望や生活の困りごとについて、議会が積極的に収集していく必要があるのではないか。



デジタルを活用した若者との接点づくり

議会のデジタル化について、特に女性は、「オンラインによる市民アンケートの実施」、「SNS等による議会の情報発信」、「住民の意見や要望のデジタル提出」といった、議会と市民の接点を増やすような取り組みを進めるべきとの回答が多かった。デジタルを活用することで、若者、特に女性の身近なところからの政治参加を促すことができるのではないか。